

## おしゃれ工房ルーベラの第三者事業承継の軌跡



### Speaker

株式会社Colorful Studio  
代表取締役 袴田 久美子 氏

静岡県袋井市出身。様々なキャリアを経た後、事業家を志す。『地元の静岡で事業を持ち、地域に貢献したい』との想いから後継者人材バンクに登録、事業承継型引継ぎで2019年に創業。「浜名湖の手作り体工房ルーベラ」等を運営している。

### オープニング・対談・まとめ



株式会社タナベコンサルティング  
コーポレートファイナンス大阪本部  
本部長代理 浜岡 裕明 / 部長 村上 知

### <登壇者会社概要>

株式会社 Colorful Studio  
所在地：静岡県浜松市  
創業：2019年  
従業員数：5名  
事業内容：体験工房ルーベラ運営  
ハンドメイドのオンラインショップ運営  
ハンドメイドワークショップの運営

### 経営資源引継ぎ型創業のモデル事例の発信

事業承継・M&A等の理解促進に向けた無料ウェビナー3つ目のテーマ「創業希望×事業承継」が2023年1月19日（木）に開催された。当日は株式会社Colorful Studio代表取締役 袴田久美子氏が登壇された。

後継者不在の中小企業が保有している経営資源（顧客、仕入先、店舗等）を第三者の創業希望者が引き継いで行う創業型の事業承継モデルを紹介した。ウェビナーには82名（事業者52名・支援団体25名・自治体5名）の申し込みがあった。



## 発信内容の概要

大学進学で上京し、高校教員、PR 業界、ビジネススクール広報、電子書籍の取次会社の経営企画広報などのキャリア経験の後、会社員としてこのままキャリアを続けることに疑問を持ち、事業家を志し事業承継引継ぎ型で 2019 年に創業した。ルーベラは、自分だけのオリジナルアクセサリやミニチュアドームづくりが楽しめる体験工房である。

事業と地域のつながりの深さを感じたことにより地元での事業承継も視野に入ったため、静岡県の後継者人材バンクに登録し、静岡県事業承継・引継ぎ支援センターより同社の紹介を受けた。事業の規模感に納得感があったことや、事業の課題解決に向けての方向性が具体的に考えやすかったことなどが決め手となり、経営を引き継ぐことを決めた。引き継いだ当初は毎日店に立つなど、引き継いだスタッフとの距離を縮める努力を続けた結果、スタッフが主役のフラットな組織へと変化していった。

## 学びのポイント

袴田氏の発信から学ぶべき点を 3 点で整理する。

1 点目は、事業承継の類型に関わらず、承継を機にビジネスモデルを変革することが前提となるということである。経営資源引継ぎ型は、創業希望者において、顧客を引き継げることで売上の見込みがあるという安心感はある。ただし、譲渡企業の廃業理由は様々であってもビジネスモデルが古いままであれば、衰退しかない。経営資源引継ぎ型で創業する際は、自身のキャリア・スキルから見て事業を変革し、業績を改善・拡大できるかどうかという基準で判断することが重要である。

2 点目は、譲渡企業は EXIT 自体を目的とせず、事業継続を前提とした引継ぎ先を模索することが重要である。譲渡後の責任として経営資源を活用して事業継続が実現されることを目的とするべきであり、自社の良い点も悪い点も共有しながら、承継後の姿をともに描くことが成功のキーポイントになる。

3 点目は、創業希望者も譲渡希望者も行政連携含めた多様な支援機関の利活用を検討すべきである。支援機関・サービスにも WEB プラットフォーム、後継者人材バンクなど様々な特色がある。譲渡側の支援機関も多様化が進んでいるため、支援機関を積極的に活用する視点が重要である。

経営資源引継ぎ型創業は、単純に引き継ぐことで経営がうまくいくということではなく、企業変革が必須である。コロナショックにより社会の価値観や商習慣が大きく変わる中で、新しいビジネスモデルにチャレンジする視点が重要である。